

浜岡原子力発電所の構内道路における油の漏えいについて

2012年9月10日

発生場所	発電所構内道路
発生年月日	2012年9月9日
発生時の状況	<p>2012年9月9日16時30分頃、構内道路(周辺防護区域外[※])に油の漏えいらしき跡があることを委託防災員が確認しました。</p> <p>詳細を確認したところ、軽トラックの荷台の携行容器より軽油が道路に滴下したため請負会社従業員が適切に油除去作業を実施していたことがわかりました。この軽油は屋外工事で使用する機器に給油するために運搬していたものです。</p> <p>漏れた軽油については、構内道路の排水溝等への流入はなく、発電所外への影響はありません。</p> <p>なお、漏れた軽油の量は約5リットルと推定しています。</p>
対応・措置	漏れた軽油については、中和剤および吸着マットによる処理を実施しました。
放射能の影響	本事象は、放射性物質の漏えいに関わる事象ではありません。
お知らせ基準	運転情報「表 2-13 建屋内又は屋外タンク施設等において、油、薬品等危険物の異常な漏えいを発見したとき」に該当します。

※ 周辺防護区域とは、核燃料物質を防護するために、発電所建屋周辺に設けられた区域です。



軽油が漏えいした跡(油除去作業実施前)

以上